

# おう吐物の処理方法と消毒液の作り方

## はじめに

ノロウイルスは乾燥すると容易に空中を漂い、これが口に入って感染することがあります。

おう吐物の処理は、処理をする人自身への感染や、周りの人への感染を防ぐため、適切な方法で、迅速・確実に行うことが重要です。

## 準備するもの

- 1 手袋、エプロン、マスク  
(使い捨てのものが良い)
- 2 ペーパータオル  
(捨てることのできるタオル等でも良い)
- 3 ビニール袋 (2枚以上)
- 4 消毒液  
[薄めた次亜塩素酸ナトリウム液(0.1%)]  
※次亜塩素酸ナトリウムは、家庭用の塩素系漂白剤に含まれています。  
使用直前に薄めて作ります。

## 消毒液の作り方

次の手順で、薄めた次亜塩素酸ナトリウム液(0.1%)を調整してください。

### 【手順】

500 ミリリットルのペットボトルを用意し、ペットボトルのキャップ2杯分(約10ミリリットル)の塩素系漂白剤[次亜塩素酸ナトリウム液(約5%)]を入れ、ペットボトルを水で満たします。

塩素系漂白剤



水

約 490 ミリリットル



約 10 ミリリットル



## 次亜塩素酸ナトリウム液を使用する際の注意！

- ☆ 次亜塩素酸ナトリウム液を薄めるときや、使うときは、窓を開けて換気をしましょう。
- ☆ 薄めた次亜塩素酸ナトリウム液は、時間が経過すると消毒効果がなくなってしまう場合があるので、その都度、作った方が確実です。やむを得ず保管する場合は、誤って飲むことがないように、消毒液であることを明記しましょう。
- ☆ 次亜塩素酸ナトリウム液には、金属の腐食やカーペット等の脱色作用がありますので、使用する場所に注意しましょう。消毒後 10 分程度経過したら水拭きしましょう。
- ☆ 次亜塩素酸ナトリウム液を、酸性洗剤やエタノール等(アルコール類)と混ぜると有毒ガスが発生するため危険です。
- ☆ 皮膚に対する刺激が強いので、薄めた次亜塩素酸ナトリウム液で、手等を消毒してはいけません。
- ☆ その他、次亜塩素酸ナトリウム液の使用にあたっては、商品の「使用上の注意」を確認しましょう。

## おう吐物の処理方法

①



窓を開け、換気をしながら作業します。  
使い捨ての手袋、エプロン、マスクを着けます。

②



ペーパータオルで外側から内側に向けて、汚れた面を折り込みながら、おう吐物を静かに拭き取ります。

③



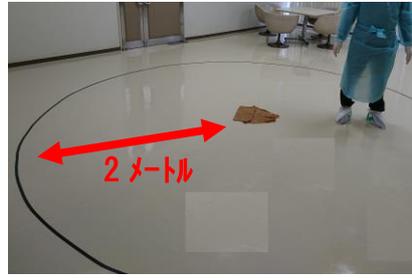
おう吐物を拭き取ったペーパータオルは、すぐにビニール袋に入れ、密封します。

④



おう吐物が付着していた床を、消毒液〔薄めた次亜塩素酸ナトリウム液(0.1%)〕を染み込ませたペーパータオルで覆い、浸すように拭きます。

⑤



おう吐物の周り(半径2メートル程度)を、消毒液〔薄めた次亜塩素酸ナトリウム液(0.1%)〕を染み込ませたペーパータオルで拭きます。

⑥



拭いた後、10分程度おいて、水拭きします。

⑦



手袋は付着したおう吐物が手に付いたり、飛び散ったりしないよう裏返しながら外します。

⑧



おう吐物が入ったビニール袋や使用した手袋等は、別のビニール袋に入れ、しっかりと口を締めます。

⑨



石けんを使って、しっかり手を洗います。  
(可能であれば、おう吐物処理後にシャワーを浴び、着ていた服は洗濯します。)

☆おう吐物の中にはノロウイルスがいるものと考え、正しい方法で処理しましょう。